

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	情報処理 I	岡本 京子		2年次	演習	60時間
実務経験	キャリアコンサルタントとして、ハローワークや市内大学でキャリア指導を行ってきた経験から就職活動や就職後に必要なスキルを指導					
授業概要	就職・進学に不可欠なWordを使った文書等の作成を学び、コンピュータサービス技能評価試験の合格をめざす。					
授業内容						
1	前年度復習					
2	表現力をアップする機能(ワードアート)					
3	表現力をアップする機能(画像の挿入)					
4	表現力をアップする機能(図形の作成)					
5	表現力をアップする機能(ページ罫線の設定)					
6	表現力をアップする機能(テーマの適用)					
7	表現力をアップする機能(テキストボックスの挿入)					
8	表現力をアップする機能(図形の応用)					
9	表現力をアップする機能テスト					
10	表現力をアップする機能テストFB					
11	便利な機能(検索・置換)					
12	便利な機能(PDFファイルの挿入)					
13	ビジネス文書の作成①					
14	ビジネス文書の作成②					
15	グリーティングカードの作成①					
16	グリーティングカードの作成②					
17	文書作成の応用例①					
18	文書作成の応用例②					
19	コンピュータサービス技能試験対策(入力に関する問題)					
20	コンピュータサービス技能試験対策(入力に関する問題)					
21	コンピュータサービス技能試験対策(入力に関する問題)					
22	コンピュータサービス技能試験対策(入力に関する問題)					
23	コンピュータサービス技能試験対策(文書作成に関する問題)					
24	コンピュータサービス技能試験対策(文書作成に関する問題)					
25	コンピュータサービス技能試験対策(文書作成に関する問題)					
26	コンピュータサービス技能試験対策(文書作成に関する問題)					
27	コンピュータサービス技能試験対策(編集・校正に関する問題)					
28	コンピュータサービス技能試験対策(編集・校正に関する問題)					
29	コンピュータサービス技能試験対策(編集・校正に関する問題)					
30	テスト対策					
参考資料 履修条件 成績評価	主教材:『よくわかるWord2013基礎』(FOM出版) 評価:期末テスト9割(点数×0.9)+授業内での課題1割。 欠席1回で-5点(居眠りも同様)					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	情報処理Ⅱ	岡本 京子		2年次	演習	60時間
実務経験	キャリアコンサルタントとして、ハローワークや市内大学でキャリア指導を行ってきた経験から就職活動や就職後に必要なスキルを指導					
授業概要	就職・進学に不可欠なExcelを使った計算やグラフの作成を学び、コンピュータサービス技能評価試験の合格をめざす。					
授業内容						
1	前年度復習					
2	3Dマップを使ったグラフの作成					
3	データの並べ替えと抽出					
4	データベースを効率的に操作する					
5	便利な機能(検索・置換)					
6	便利な機能(PDFファイルとして保存する)					
7	高度な関数(IF関数①)					
8	高度な関数(IF関数②)					
9	高度な関数(COUNTIF関数)					
10	高度な関数(RANK.EQ関数①)					
11	高度な関数(TANK.EQ関数②)					
12	高度な関数(VLOOKUP関数、HLOOKUP関数①)					
13	高度な関数(INDEX関数)					
14	高度な関数(OR関数、AND関数)					
15	関数まとめ、テスト対策					
16	コメントの挿入					
17	画像・図形の挿入					
18	コンピュータサービス技能評価試験対策(表の作成)					
19	コンピュータサービス技能評価試験対策(表の作成)					
20	コンピュータサービス技能評価試験対策(表の作成)					
21	コンピュータサービス技能評価試験対策(表の作成)					
22	コンピュータサービス技能評価試験対策(装飾・編集)					
23	コンピュータサービス技能評価試験対策(装飾・編集)					
24	コンピュータサービス技能評価試験対策(装飾・編集)					
25	コンピュータサービス技能評価試験対策(装飾・編集)					
26	コンピュータサービス技能評価試験対策(グラフ作成)					
27	コンピュータサービス技能評価試験対策(グラフ作成)					
28	コンピュータサービス技能評価試験対策(グラフ作成)					
29	コンピュータサービス技能評価試験対策(グラフ作成)					
30	テスト対策					
参考資料 履修条件 成績評価	主教材:『よくわかるExcel2016基礎』(2016, 富士通エフ・オー・エム株式会社) 評価: 期末テスト9割(点数×0.9) + 授業内での課題1割。 欠席1回で-5点(居眠りも同様)					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	情報処理Ⅲ	岡本 京子		2年次	演習	60時間
実務経験	キャリアコンサルタントとして、ハローワークや市内大学でキャリア指導を行ってきた経験から就職活動や就職後に必要なスキルを指導					
授業概要	前年度に学んだPowerPointの知識を使い、実社会でも対応できるよう、プレゼンテーションを实践する。					
授業内容						
1	前年度の復習					
2	インターネットへのアップロード					
3	プレゼンテーションをビデオファイルにする					
4	プレゼンテーション実践①「写真物語を作る」準備					
5	プレゼンテーション実践①「写真物語を作る」準備					
6	プレゼンテーション実践①「写真物語を作る」発表・振り返り					
7	プレゼンテーション実践②「クイズを作る」準備					
8	プレゼンテーション実践②「クイズを作る」準備					
9	プレゼンテーション実践②「クイズを作る」準備					
10	プレゼンテーション実践②「クイズを作る」発表・振り返り					
11	プレゼンテーション実践②「自己PR」準備					
12	プレゼンテーション実践②「自己PR」準備					
13	プレゼンテーション実践②「自己PR」準備					
14	プレゼンテーション実践②「自己PR」発表・振り返り					
15	プレゼンテーション実践③「ふるさと自慢」準備					
16	プレゼンテーション実践③「ふるさと自慢」準備					
17	プレゼンテーション実践③「ふるさと自慢」準備					
18	プレゼンテーション実践③「ふるさと自慢」発表・振り返り					
19	プレゼンテーション実践④「学校紹介」準備					
20	プレゼンテーション実践④「学校紹介」準備					
21	プレゼンテーション実践④「学校紹介」準備					
22	プレゼンテーション実践④「学校紹介」発表・振り返り					
23	プレゼンテーション実践⑤「気になるニュース」準備					
24	プレゼンテーション実践⑤「気になるニュース」準備					
25	プレゼンテーション実践⑤「気になるニュース」準備					
26	プレゼンテーション実践⑤「気になるニュース」発表・振り返り					
27	プレゼンテーション実践⑥「未来の製品を企画する」準備					
28	プレゼンテーション実践⑥「未来の製品を企画する」準備					
29	プレゼンテーション実践⑥「未来の製品を企画する」準備					
30	プレゼンテーション実践⑥「未来の製品を企画する」発表・振り返り					
参考資料 履修条件 成績評価	参考資料:『はじめてのPowerPoint2013』(2013、秀和システム) 成績評価:プレゼンテーションの内容を見て評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	情報倫理	岡本 京子		2年前期	講義	30時間
実務経験	キャリアコンサルタントとして、ハローワークや市内大学でキャリア指導を行ってきた経験から就職活動や就職後に必要なスキルを指導					
授業概要	情報社会に参加するにあたって、身につけておかなければならない知識を学習する。大量にある情報の中から、自分に必要な情報を選択し、情報の真偽を見抜く力を身につける。					
授業内容						
1	コミュニケーションの特徴					
2	情報発信と注意点					
3	情報社会の影					
4	情報モラル					
5	セキュリティ					
6	情報社会と著作権					
7	個人情報の保護					
8	情報システムの種類					
9	情報システムの発展と進歩					
10	情報化と社会の変化					
11	情報システムの信頼性					
12	誰もが参加できる情報社会					
13	解決のステップ					
14	実際に解決してみよう					
15	テスト対策					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	各時間に配る資料とパワーポイントを使って授業を行う。 毎時間授業のはじめに、前回の授業内容に基づく小テストを行い、成績評価は、期末試験8割、平常点1割、小テスト1割とする。 参考文献『社会と情報』（東京書籍、2014）					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	ビジネス・コミュニケーション論Ⅰ	竈原 裕明		2年前期	講義	60時間
実務経験	学校教員を経て、会社設立、経営者の立場と教育事業に関わってきたスキルを生かし就職活動や働くにあたっての心構え、ビジネスの場面におけるコミュニケーションスキルなどを教授する。					
授業概要	(外国人留学生対象)日本国内での就職をめざすために、日本での就職活動に関する知識やマナー、正しい敬語の使い方などを学ぶ。					
授業内容						
1	これからの採用試験の流れ					
2	採用試験における筆記試験					
3	履歴書の書き方①					
4	履歴書の書き方②					
5	(敬語)面接を受ける① 「～てまいりました」、「～ておりますN」、「～次第です」					
6	(敬語)面接を受ける② 面接でよく使う改まった言い方、面接の自己紹介、面接のときに気を付けたいこと					
7	(敬語)面接を受ける③ 応用練習					
8	(敬語)面接を受ける④ 会話練習、ロールプレイ					
9	面接時の服装、マナー					
10	面接でよくある質問、模擬面接					
11	(敬語)電話の敬語① 名乗る					
12	(敬語)電話の敬語② 「ただいま～中でございまして」、電話でよく使う言い方					
13	(敬語)電話の敬語③ 応用練習					
14	(敬語)電話の敬語④ 会話練習、ロールプレイ					
15	電話のマナー					
16	電話のかけ方 実践練習					
17	(敬語)予約を受ける① 「～でございます」、「承ります」、「～でいらっしゃいます」					
18	(敬語)予約を受ける② 「お/ご～になれます」、「お/ご～いただけますか」、「～になさいますか」、「～(さ)させていただきます」					
19	(敬語)予約を受ける③ 応用練習					
20	(敬語)予約を受ける④ 会話練習、ロールプレイ					
21	(敬語)サービスの敬語① 「お/ご～になりましたら」、「お/ご～くださいませ」					
22	(敬語)サービスの敬語② 短くした敬語の形、サービスでよく使われる表現、「けっこうです」					
23	(敬語)サービスの敬語③ 応用練習					
24	(敬語)サービスの敬語④ 短いスピーチの準備と発表					
25	(敬語)スピーチをする① スピーチを始める、聞いている人たちに問いかける					
26	(敬語)スピーチをする② 説明する、スピーチを終える、スピーチでよく使うことば					
27	(敬語)スピーチをする③ 応用練習					
28	(敬語)スピーチをする④ 短いスピーチの準備と発表					
29	ここまでの就職活動の振り返り					
30	テスト対策					
参考資料 履修条件 成績評価	主教材:『新にほんご敬語トレーニング』2014, アスク、金子広幸) 成績評価:テスト、レポート、発表により評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	ビジネス・コミュニケーション論Ⅱ	竈原 裕明		2年後期	講義	60時間
実務経験	学校教員を経て、会社設立、経営者の立場と教育事業に関わってきたスキルを生かし就職活動や働くにあたっての心構え、ビジネスの場面におけるコミュニケーションスキルなどを教授する。					
授業概要	(外国人留学生対象)日本国内での就職をめざすために、日本での就職活動に関する知識やマナー、正しい敬語の使い方などを学ぶ。					
授業内容						
1	インターン実習報告会					
2	インターン先へお礼の手紙を書く					
3	(敬語)インタビューをする① 「～中/ところ、ありがとうございます」、相手の話をくり返す					
4	(敬語)インタビューをする② 相手の話を広げる、相手の質問に答える、確認したいとき					
5	(敬語)インタビューをする③ 応用練習					
6	(敬語)インタビューをする④ 会話練習、ロールプレイ					
7	(敬語)報告をする① 順を追って報告する、聞いたことを話す、見せる					
8	(敬語)報告をする② 感想を言う、報告を終えて質問を受ける					
9	(敬語)報告をする③ 応用練習					
10	(敬語)報告をする④ 場面を想定した実践練習					
11	(敬語)司会の敬語① 「皆さんお集まりですので」、「そろそろ始めたいと思います」					
12	(敬語)司会の敬語② 自己紹介、司会の表現					
13	(敬語)司会の敬語③ 応用練習					
14	(敬語)司会の敬語④ 場面を想定した実践練習					
15	(敬語)注意をする・注意を受ける① 注意をする・あやまる、婉曲的に注意をする					
16	(敬語)注意をする・注意を受ける② 他社の人に苦情を言う・あやまる					
17	(敬語)注意をする・注意を受ける③ 応用練習					
18	(敬語)注意をする・注意を受ける④ 会話練習、ロールプレイ					
19	(敬語)アポイントをとる① 自社の人にアポイントをとる、他社の人にアポイントをとる					
20	(敬語)アポイントをとる② 面識のない人にアポイントをとる、約束を変更する					
21	(敬語)アポイントをとる③ 応用練習					
22	(敬語)アポイントをとる④ 会話練習、ロールプレイ					
23	(敬語)訪問する① 取次ぎを頼む、名前の読み方を聞く					
24	(敬語)訪問する② 辞去する					
25	(敬語)訪問する③ 応用練習					
26	(敬語)訪問する④ 会話練習、ロールプレイ					
27	働き始める前に知っておくべきこと					
28	外国人新入社員のためのビジネスマナー					
29	特に注意すべきビジネスマナー					
30	テスト対策					
参考資料 履修条件 成績評価	主教材:『新にほんご敬語トレーニング』2014, アスク、金子広幸) 成績評価:テスト、レポート、発表により評価する					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	総合教育 I	長菌 明子		1年前期	講義	30時間
実務経験	日本語教員として外国人留学生に接してきた教員のもと、授業で学んだ日本語を活かせる活動を行う。					
授業概要	(外国人留学生対象)日本での生活習慣の確認や、日本の文化や風土についての学習等を行う。					
授業内容						
1	今年度の目標達成に向けてなすべきこと					
2	生活時間の見直し					
3	家族に感謝の手紙を書く					
4	日本の伝統芸能					
5	日本のポップカルチャー					
6	アニメ鑑賞『天空の城ラピュタ』					
7	各国の名物料理紹介					
8	日本と母国の冠婚葬祭					
9	乳山八幡神社参拝					
10	夏を快適に過ごすために					
11	校外学習事前学習					
12	校外学習(門司港レトロ見学)					
13	校外学習感想発表会					
14	旅行に行くなら(名所を探して計画を立てる)					
15	振り返り					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	成績評価:期末のレポート(8割)、その都度の感想提出(1割)、出席(1割)					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	総合教育 I	長菌 明子		2年前期	講義	30時間
実務経験	日本語教員として外国人留学生に接してきた教員のもと、授業で学んだ日本語を活かせる活動を行う。					
授業概要	(外国人留学生対象)日本での生活習慣の確認や、日本の文化や風土についての学習等を行う。					
授業内容						
1	夏休みの振り返り、残りの学生生活を充実させるために					
2	町内清掃活動					
3	日本の少子高齢化					
4	介護体験授業					
5	介護施設見学事前準備					
6	介護施設見学					
7	介護施設へお礼の手紙を書く					
8	日本文学に親しむ『注文の多い料理店』					
9	母国で人気のスポーツ					
10	世界各国のクリスマスについて調べる					
11	百人一首体験					
12	年賀状を書く					
13	鏡開き(ぜんざい作り)					
14	卒業文集作成					
15	振り返り					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	成績評価: 期末のレポート(8割)、その都度の感想提出(1割)、出席(1割)					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	スポーツ社会学Ⅱ	浦川 孝寿		2年前期	講義	30時間
実務経験	社会人野球部の監督経験のある教員が、野球を通して日本の社会について教授する。					
授業概要	(外国人留学生対象)野球を通して日本事情を学び、自国と比較できるようになる。					
授業内容						
1	スポーツ社会学Ⅰ復習					
2	日本のプロ野球の仕組み セリーグとパリーグとは、現在の12球団					
3	福岡のプロ野球球団・福岡ソフトバンクホークス その歴史とファン獲得のために行った戦略とは ～他球団の営業努力は？					
4	プロ野球・球史に残る名勝負と名選手 天覧試合、江夏の21球、長嶋茂雄、王貞治、野村克也、野茂英雄、イチロー 他					
5	プロ野球界のお金事情 選手の年俵はいくらぐらい？					
6	プロ野球ドラフト制度 その仕組みとこれにより引き起こされた事件、最善の方法とは					
7	プロ野球選手の引退後 野球しか知らなかった選手の行く末					
8	プロ野球事件簿 黒い霧事件、合併問題とストライキ 他					
9	社会人野球 企業チームとクラブチーム ～減少していく企業チームの現状					
10	大学野球 最後の早慶戦に見る、野球と平和					
11	国際大会 WBCとプレミア12の違い、オリンピック、日本の戦績、世界の競技人口					
12	メジャーリーグと日本の野球					
13	独立リーグ NPBとの違いとは ～夢と現実、どちらを選ぶ？					
14	女子野球と男子野球との格差 ～男女差別について考える					
15	テスト対策					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	各時間に配る資料とパワーポイントを使って授業を行う。 毎時間授業のはじめに、前回の授業内容に基づく小テストを行い、成績評価は、期末試験8割、平常点1割、小テスト1割とする。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	スポーツ文化論Ⅱ	浦川 孝寿		2年後期	講義	30時間
実務経験 社会人野球部の監督経験のある教員が、野球を通して日本近代史を教授する。						
授業概要	(外国人留学生対象) 本学競技スポーツ科学生が取り組んでいて、日本で最も盛んなスポーツである野球について、深く掘り下げる中で、日本の近代史を学ぶ。					
授業内容						
1	今夏の甲子園大会の振り返り					
2	プロ野球史① 大リーグ来日からプロ野球誕生へ					
3	プロ野球史② 戦争の激化とプロ野球中断					
4	プロ野球史③ 戦後の復活と2リーグ制					
5	プロ野球史④ 「巨人、大鵬、卵焼き」の時代					
6	プロ野球史⑤ ドーム球場の誕生					
7	プロ野球史⑥ Jリーグの開幕が与えた影響					
8	プロ野球史⑦ 日本人選手、大リーグへ					
9	プロ野球史⑧ 21世紀を迎えて(球界再編問題、裏金問題)					
10	プロ野球史⑨ 今後の課題					
11	野球部員と野球をモチーフにしたゲームを楽しむ					
12	国際交流と野球 青年海外協力隊・野球ボランティアの活動紹介					
13	映画『遙かなる甲子園』に見る人権					
14	戦火に散った選手たち～平和と野球					
15	テスト対策					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	各時間に配る資料とパワーポイントを使って授業を行う。 毎時間授業のはじめに、前回の授業内容に基づく小テストを行い、成績評価は、期末試験8割、平常点1割、小テスト1割とする。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	コミュニケーション論 I	長菌 明子		2年前期	講義	30時間
実務経験	日本語学校で勤務経験がある教員により、日本語での円滑なコミュニケーションの取り方を教授する。					
授業概要	(外国人留学生対象)さまざまなタスクを遂行する中で、「自分のこと/自分の考えを伝える力」「伝え合う力・語り合う日本語力」を身につける。					
授業内容						
1	第1課 新たな出会い ①興味のあるお知らせの情報を読み取る					
2	第1課 新たな出会い ②参加するイベントの内容を話して友達を誘う					
3	第1課 新たな出会い ③天気予報を聞き取って自分の行動を決める					
4	第1課 新たな出会い ④覚えてもらえるように印象的に自己紹介する					
5	第2課 楽しい食事・上手な買い物 ①レストランの紹介を聞いて、お得な情報を得る					
6	第2課 楽しい食事・上手な買い物 ②友達に希望を聞いて、おすすめの情報と情報の探し方を紹介する					
7	第2課 楽しい食事・上手な買い物 ③看板やポスターを見て、どんな内容が書いてあるか理解して情報を得る					
8	第2課 楽しい食事・上手な買い物 ④店の人に希望を伝えて依頼する					
9	第2課 楽しい食事・上手な買い物 ⑤買い物についての経験談を周りの人と共有し、自分の買い物に役立てる					
10	第3課 時間を生かす ①時間の使い方について書かれた雑誌の記事を読んで、情報を得る					
11	第3課 時間を生かす ②生活のリズムについて友達の話聞いて、どんな工夫をしているか知る					
12	第3課 時間を生かす ③今の時間を将来の目標を実現するための時間として、どのように活用しているか周りの人と共有する					
13	第3課 時間を生かす ④日本の生活を充実させるために、何かしている人から情報を得る					
14	今の生活を振り返る					
15	テスト対策					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	主教材:『できる日本語 中級』(2013、アルク) 成績評価: 期末テストの他、授業内でのタスクの達成度と取り組み具合で評価する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	コミュニケーション論Ⅱ	長 菌 明子		2年後期	講義	30時間
実務経験	日本語学校で勤務経験がある教員により、日本語での円滑なコミュニケーションの取り方を教授する。					
授業概要	(外国人留学生対象)さまざまなタスクを遂行する中で、「自分のこと/自分の考えを伝える力」「伝え合う力・語り合う日本語力」を身につける。					
授業内容						
1	第4課 地域を知って生活する ①施設を利用するのにわからないことがあったとき、職員の説明を聞き取る					
2	第4課 地域を知って生活する ②困っていることを管理人に説明し、解決してもらえるように頼む					
3	第4課 地域を知って生活する ③地域にある施設の利用案内を読んで情報を得ることができる					
4	第4課 地域を知って生活する ④よく利用する施設の様子や特徴などについて紹介することができる					
5	第4課 地域を知って生活する ⑤電話で道順をメモしながら行き方を知る					
6	第5課 緊急事態！ ①地震や台風などの速報を聞いたとき、必要な情報を得ることができる					
7	第5課 緊急事態！ ②約束の時間に間に合わないとき、状況を説明して指示を受ける					
8	第5課 緊急事態！ ③けがをしたときの状況と今の状態を説明する					
9	第5課 緊急事態！ ④非難の際の注意事項を読んで情報を得る					
10	第5課 緊急事態！ ⑤緊急の事態が起こって経験したことを周りの人と共有する					
11	第6課 地図を広げる ①説明を読んで、日本の地理や街の様子、気候について知る					
12	第6課 地図を広げる ②説明を聞いて、気候に合わせた建物の特徴を知る					
13	第6課 地図を広げる ③気候が合わなくて体調を崩した友達の話を聞いて、アドバイスする					
14	第6課 地図を広げる ④説明を読んで、街の特徴や歴史などについて知る					
15	第6課 地図を広げる ⑤国・ふるさとの地形や気候を利用した名物や風物詩を紹介する テスト対策					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	主教材:『できる日本語 中級』(2013、アルク) 成績評価: 期末テストの他、授業内でのタスクの達成度と取り組み具合で評価する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	文書作成・表現法 I	長 菌 明子		1年次	講義	60時間
実務経験	出版社の原稿作成ライターとしての活動経験と日本語学校での勤務経験をもとに、日本語でのライティングスキルを教授する。					
授業概要	書き言葉としての日本語を学び、読む・書く力を身につけ、日本語能力試験の合格へと結びつける。					
授業内容						
1	(読解)物の形・状態・場所					
2	(作文)物の形・状態・場所					
3	(読解)物事の前後関係					
4	(作文)物事の前後関係					
5	(読解)物事の仕組み・手順・方法(1)					
6	(作文)物事の仕組み・手順・方法(1)					
7	(読解)物事の因果関係					
8	(作文)物事の因果関係					
9	ここまでのまとめ					
10	中間テスト					
11	(読解)行為の理由・目的					
12	(作文)行為の理由・目的					
13	(読解)共通点・類似点・相違点					
14	(作文)共通点・類似点・相違点					
15	(読解)伝聞・引用					
16	(作文)伝聞・引用					
17	(読解)意見を述べる					
18	(作文)意見を述べる					
19	(読解)物事の変化・推移・過程					
20	(作文)物事の変化・推移・過程					
21	ここまでのまとめ					
22	中間テスト					
23	(読解)物事の仕組み・手順・方法(2)					
24	(作文)物事の仕組み・手順・方法(2)					
25	(読解)具体的事実から全体的特徴をつかむ					
26	(作文)具体的事実から全体的特徴をつかむ					
27	(読解)賛成意見・反対意見					
28	(作文)賛成意見・反対意見					
29	文章の要約					
30	テスト対策					
参考資料 履修条件 成績評価	参考資料:『にほんご作文の方法』(1994、第三書房) 成績評価:期末テストのほか、中間テストや授業内の課題により評価する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	文書作成・表現法Ⅱ	長 菌 明子		2年次	講義	60時間
実務経験	出版社の原稿作成ライターとしての活動経験と日本語学校での勤務経験をもとに、日本語でのライティングスキルを教授する。					
授業概要	(外国人留学生対象)文章作成に必要な、生活の中でよく目にする漢字の能力を身につける					
授業内容						
1	「立て札・注意書き、建物の中でよく見る表示」					
2	「建物の内外でよく見る表示」「駅でよく見る表示」					
3	「乗り物でよく見る表示」「郵便局・病院で見る表示」					
4	実戦問題、「自動券売機」					
5	「現金自動支払機」「自動販売機・自動券売機」					
6	「家電のリモコン」「電話・携帯電話」					
7	「携帯電話・パソコン」、実戦問題					
8	「料金通知・払込用紙」「不在通知」					
9	「ポイントカード・商品県・クリーニング預かり票」「ゴミの分別」					
10	「いろいろな通知①」「いろいろな通知②」					
11	実戦問題、「伝票・申込書」					
12	「返事を書く」「メール・はがき」					
13	「ビジネスメール」「答案用紙」					
14	「作文」、実戦問題					
15	中間テスト					
16	「家庭用品(ポット・ヒーター)」「家庭用品 洗剤①」					
17	「家庭用品 洗剤②」「家庭用品(薬)」					
18	「食品」「インターホン・パソコン」					
19	実戦問題、「広告・チラシ」					
20	「折込広告」「広告」					
21	「地図」「文化財・展示」					
22	「どっち?」、実戦問題					
23	「求人・募集」「掲示板・地域新聞」					
24	「メニュー・成分表示」「受験案内」					
25	「交通情報」「気象情報」					
26	実戦問題、「速報」					
27	「見出し①」「見出し②」					
28	「記事①」「記事②」					
29	「記事③」、実戦問題					
30	テスト対策					
参考資料 履修条件 成績評価	主教材:『日本語総まとめ N2漢字』(2016, アスク出版、佐々木仁子・松本紀子) 成績評価: 期末テストのほか、毎週与える課題の提出状況により評価する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	スポーツジャーナリズム 概論	長 菌 明子		2年前期	講義	30時間
実務経験 ライターとしての活動経験と、野球チームのマネージャーとしての経験のある講師が、スポーツ報道の在り方と、スポーツドキュメンタリーを描く手法について解く。						
授業概要	スポーツ学校としてスタートした本学に在籍している学生として、スポーツに関する知識を取り入れ、それを活かしたうえで、人に伝えることを意識した文章を作成する。					
授業内容						
1	スポーツを知る① アマチュアリズム					
2	スポーツを知る② スポーツのルール					
3	スポーツジャーナリズムを知る① 批評と批判					
4	スポーツジャーナリズムを知る② 商業主義					
5	スポーツジャーナリズムを知る③ 日本のメディア					
6	スポーツを見る① スポーツ新聞の特徴					
7	スポーツを見る② 人間ドラマではなくスポーツの話を書く					
8	スポーツを聞く① インタビューの手法					
9	スポーツを聞く② インタビューを行う					
10	スポーツを表現する① 表現技術を身につける					
11	スポーツを表現する② スポーツシーンを描く					
12	スポーツを考える① マスコミが問題にしていること					
13	スポーツを考える② 世界のスポーツの流れ					
14	スポーツを考える③ 未来の問題を考える					
15	テスト対策					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	参考資料:『スポーツ・ジャーナリズムを語る』(2002、アイオーエム、玉木正之) 成績評価: 期末テストのほか、授業内での課題により評価する。					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	レクリエーションスポーツ 演習	本田 和人		2年後期	演習	30時間
実務経験 保健体育の指導経験のある教員が、子どもの体力向上や障がい者福祉のために活用できる運動を指導する。						
授業概要	誰でも楽しめる健康づくりを実践できる知識を身につける。					
授業内容						
1	幼児とのレクリエーション①基本運動					
2	幼児とのレクリエーション②マットを使った運動					
3	幼児とのレクリエーション③跳び箱を使った運動					
4	幼児とのレクリエーション④ボールを使った運動					
5	幼児とのレクリエーション⑤なわを使った運動					
6	幼児とのレクリエーション⑥平均台を使った運動					
7	幼児とのレクリエーション⑦鉄棒を使った運動					
8	障がい者とのレクリエーション グランドソフトボール①					
9	障がい者とのレクリエーション グランドソフトボール②					
10	障がい者とのレクリエーション グランドソフトボール③					
11	障がい者とのレクリエーション フットベースボール①					
12	障がい者とのレクリエーション フットベースボール②					
13	障がい者とのレクリエーション フットベースボール③					
14	家の中でできるレクリエーション					
15	まとめ					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	参考資料『幼児体育 応用編』(2006、タイケン出版、山口智之) 演習への取り組み、出席で評価					

学部学科	授業科目	担当教員	開講年度	履修年次	授業区分	単位時間数
ウェルネスIT科	健康スポーツ実技Ⅱ	本田 和人		2年前期	実技	30時間
実務経験	スポーツ指導経験者が健康づくりのためのエアロビクスな運動の指導を行う授業					
授業概要	エアロビックダンスエクササイズの基本、応用、指導技術、理論などを身に付ける。					
授業内容						
1	運動強度の変換について、ドリル練習(Aウォーキング)					
2	運動強度の変換について ドリル練習(Bステップタッチ)					
3	AとBの組み合わせ					
4	AとBの組み合わせ発表					
5	AとBの組み合わせ課題発表					
6	その他の動きとバリエーション					
7	15分間のメインパートプログラム					
8	15分間のメインパート課題発表					
9	メインパート発表					
10	筋コンディショニングセミナー					
11	筋コンディショニング発表					
12	ウォーミングアップとメインパート					
13	ウォーミングアップとメインパート発表					
14	まとめ					
15	定期試験					
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
参考資料 履修条件 成績評価	新エアロビックダンスエクササイズの実技指導を使用。 授業に参加が基本、遅刻3は欠席とみなし欠席者はレポート提出を伴う出席、授業態度、実技テスト等で評価する。 毎回の課題をきちんとマスターするには練習あるのみです。					